

平成30年11月7日

ツインメッセ静岡

日本水道協会 全国地震等緊急時訓練

平成30年度応援訓練

災害対策方法等情報交換会

中部地方支部における 取り組みについて

名古屋市上下水道局

企画経理部主幹(防災・危機管理) 西川 幸雄

(訓練実施方法等検討小委員会 委員)

これまでの取り組み

■ 枠組みの面

- 連絡・応援要請の手順の明確化
- 体制の整備

公益社団法人日本水道協会中部地方支部
災害時相互応援に関する協定（平成15年7月締結）
（平成29年10月改定）

■ 実務の面

- 定期的な情報交換

防災連絡協議会

- 訓練の実施

（地方支部長と9県支部長各都市の防災担当）

中部地方支部合同防災訓練

- 発災時の連携と改善

大規模災害への応援活動やその結果を踏まえた改善

これまでの取り組み－訓練の実施

■ 中部地方支部合同防災訓練

(平成18年度から実施、平成20年度からは3ブロックで開催)

年度	開催地
平成25年度	愛知県岡崎市、福井県越前市、新潟県長岡市
平成26年度	岐阜県大垣市、長野県飯田市、石川県小松市
平成27年度	三重県伊勢市、静岡県沼津市、富山県射水市
平成28年度	愛知県一宮市、福井県敦賀市、新潟県上越市
平成29年度	岐阜県多治見市、長野県松本市、石川県金沢市

※平成30年度は応援訓練実施のため休止



これまでの取り組み－発災時の連携と改善



■ 被災地でのミーティング状況

- (左上)新潟県中越地震 (平成16年)
- (右上)東日本大震災 (平成23年)
- (左下)熊本地震 (平成28年)



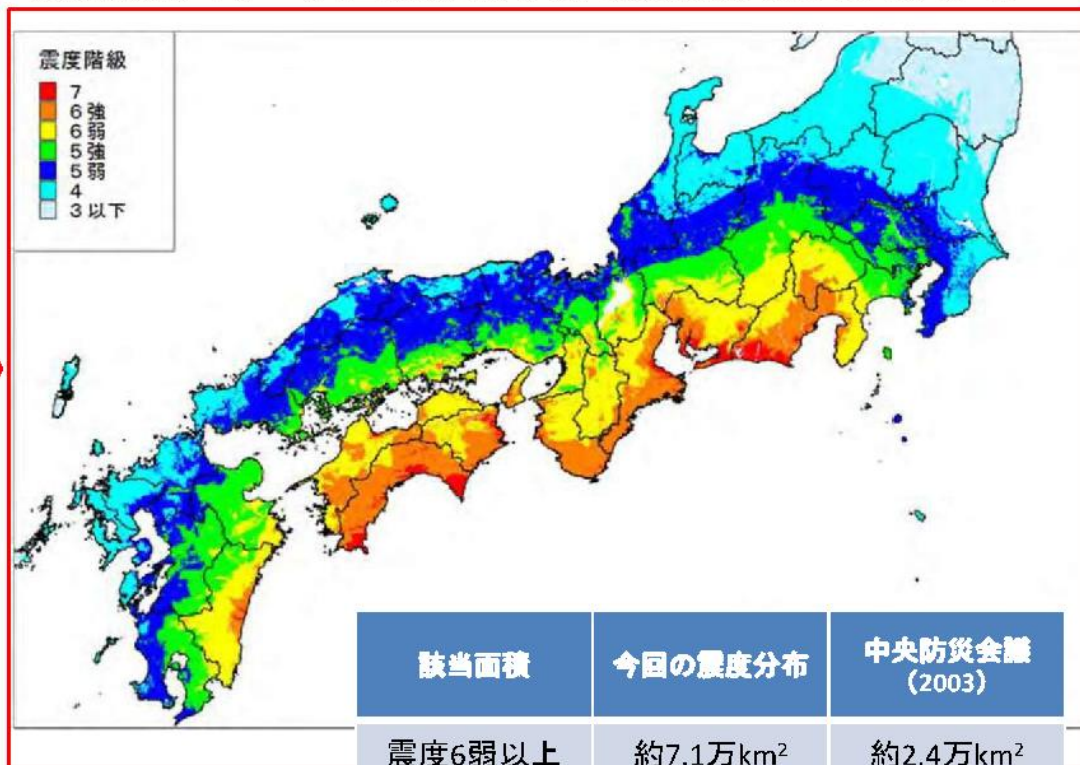
■ 日本水道協会中部地方支部における熊本地震応援活動の派遣者によるワークショップ

- (右下)平成28年11月実施

南海トラフ巨大地震

【震度の最大値の分布図】

強震波形4ケースと経験的手法の震度の最大値の分布



(出典)内閣府ホームページ(http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/nankaitrough_info.html)

南海トラフの巨大地震による津波高・浸水域等(第二次報告)及び被害想定(第一次報告)について
(平成24年8月29日発表)

資料1-1 南海トラフの巨大地震による津波高・震度分布等 より抜粋

日本水道協会中部地方支部の特性

■ 地理的な特徴(県支部長都市)

日本海側

(福井市、金沢市、富山市、新潟市)

内陸

(長野市、岐阜市)

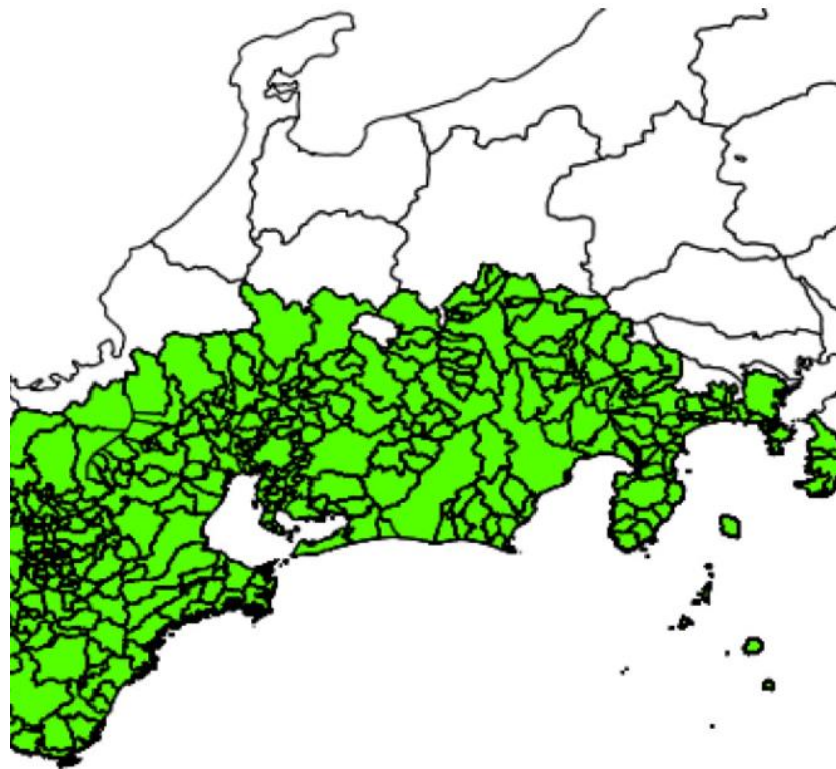
太平洋側

(豊橋市、津市、静岡市)

■ 南海トラフ地震防災対策推進地域の指定

指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮



甚大な被害が
広域に発生すると予想

(出典)内閣府ホームページ(<http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>)

南海トラフ地震に係る地域指定 南海トラフ地震防災対策推進地域・南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域
より抜粋

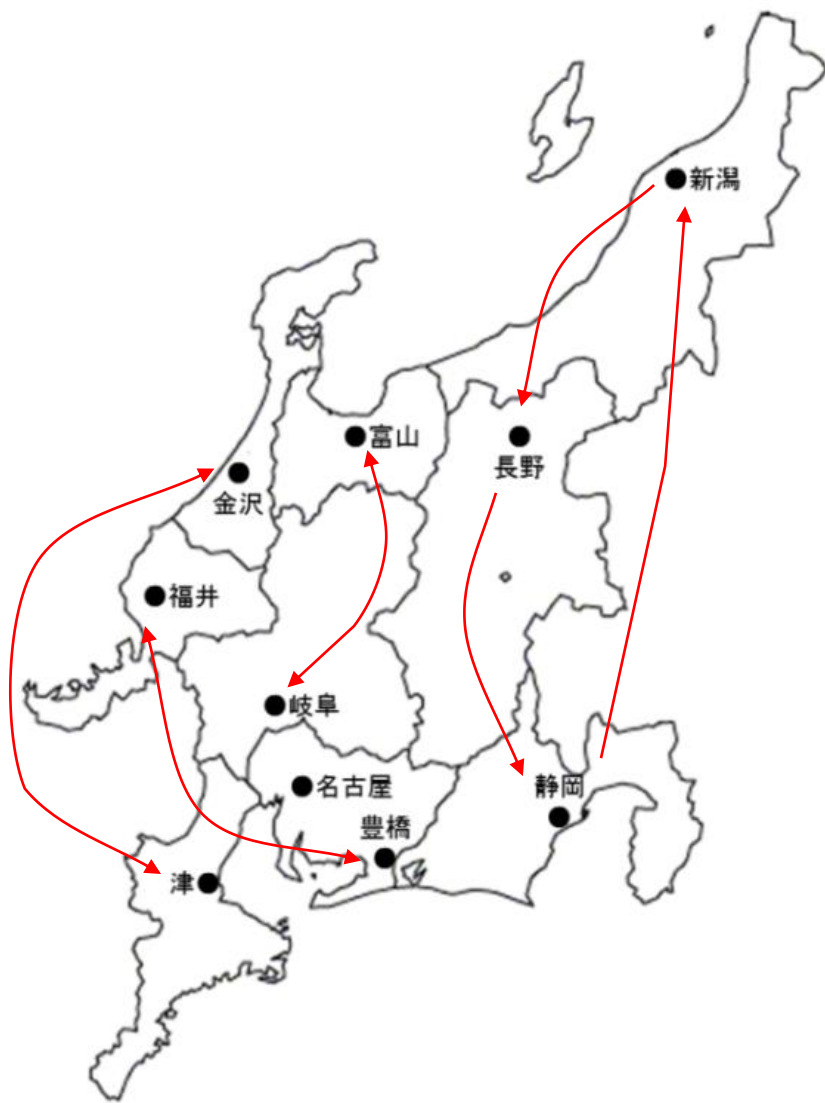
各県支部長都市と県内代理都市（第1順位まで）

県	支部長都市	県内代理都市	県	支部長都市	県内代理都市
愛知県支部	豊橋市	豊田市	石川県支部	金沢市	小松市
三重県支部	津市	四日市市	富山県支部	富山市	高岡市
静岡県支部	静岡市	浜松市	長野県支部	長野市	松本市
岐阜県支部	岐阜市	大垣市	新潟県支部	新潟市	長岡市
福井県支部	福井市	敦賀市			

県内でも同時被災した場合は？

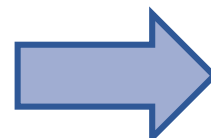
各県支部長都市と県外代理都市の設定

被災支部長	県外代理都市
愛知県支部長 (豊橋市)	福井県支部長(福井市)
三重県支部長 (津市)	石川県支部長(金沢市)
静岡県支部長 (静岡市)	長野県支部長(長野市)
岐阜県支部長 (岐阜市)	富山県支部長(富山市)
福井県支部長 (福井市)	愛知県支部長(豊橋市)
石川県支部長 (金沢市)	三重県支部長(津市)
富山県支部長 (富山市)	岐阜県支部長(岐阜市)
長野県支部長 (長野市)	新潟県支部長(新潟市)
新潟県支部長 (新潟市)	静岡県支部長(静岡市)



中部地方支部長代理都市の変更

順位	支部長名
第1順位	愛知県支部長(豊橋市)
第2順位	三重県支部長(津市)
第3順位	静岡県支部長(静岡市)
第4順位	岐阜県支部長(岐阜市)
第5順位	福井県支部長(福井市)
第6順位	石川県支部長(金沢市)
第7順位	富山県支部長(富山市)
第8順位	長野県支部長(長野市)
第9順位	新潟県支部長(新潟市)



支部長名
新潟県支部長(新潟市)



各県支部間における情報交換会の開催

■ ねらい

- 協定の改定をより実効性のあるものとするため、応援時に必要となる相手先の県支部内の状況を把握し、迅速な応援体制の確立につなげる

■ 内容

- 県支部内水道事業の概要や災害発生時の組織体制等の相互把握
- 県外代理都市の相互訪問
 - ・平成29年度は太平洋側へ
 - ・平成30年度は日本海側へ



訓練－中部地方支部相互応援協定の実効性向上へ



■ 平成29年度情報伝達訓練に合わせた訓練

- 名古屋市(左上)
 - 新潟市水道局に地方支部長業務の補助を依頼
(※名古屋市にて共同で訓練実施)
 - 新潟市水道局先遣隊初動訓練
 - 他地方支部からの給水車を各県支部へ差配

- 静岡市(左下)
 - 独自に静岡市水道事業の災害対策訓練を実施
 - 県内代理都市(浜松市)、県外代理都市(長野市)への県支部長代理要請訓練
 - 長野県支部からの給水車を静岡県支部内へ差配



最近の連携－北陸地方寒波による凍結災害応援



■ 平成30年
1月～2月

(左上)新潟市水道局内
打合せ状況

(右上)新潟市内漏水調査状況

(左下)佐渡市二宮配水池への
注水状況

(右下)佐渡市内打合せ状況



最近の連携 — 平成30年7月豪雨応援



■ 岐阜県下呂市 7月8日～10日

(左上) 下呂市内打合せ状況
(右上) 給水タンク車から
浄水場への補水状況

■ 広島県呉市 7月12日～19日

(左下) 呉市上下水道局内での
打合せ状況
(右下) 社会福祉施設での
応急給水状況

中部地方支部の今後の取り組み

- 応急給水の考え方の整理
 - 給水タンク車要請台数の基本的な考え方
 - 派遣される給水タンク車が不足する際の対策
- 平成30年度中部地方支部情報伝達訓練の実施
- 平成31年度から中部地方支部合同防災訓練の再開